



体調不良なら受診が必要

【47】



Q 食べてもあまり太りません。どのような原因が考えられますか。(湯川村 男性 13歳 K・Hさん)

A 体重は摂取する熱量と消費のバランスで決まります。太らない原因として、体格指数(BMI) 体重/身長²がかわらない場合と、体重が増加しない

食べても太らないのはなぜ

場合が考えられます。

身長が伸びる年齢では、たくさん食べて体重が増加するもの、背も高くなるためBMIは変わらず、見た目は太りません。

一方食べても体重が増加しない原因として、消費熱量が多い場合と栄養分の吸収が悪い場合が考えられます。消費熱量が多くなる状態として、生理的に(病気ではないという意味)、運動量が多い、長く緊張する仕事をしている、睡眠不足、低温環境で仕事をしているなどが考えられます。

ホルモン過剰(甲状腺中毒症)及び交感神経ホルモン過剰(褐色細胞腫)、②感染症や膠原病に伴う慢性炎症、寄生虫、悪性腫瘍などの消耗性疾患、③栄養分の吸収を妨げる代謝性疾患(糖尿病)、消化器疾患(胃切除後、吸収不良症候群)、蛋白量出症、炎症性腸疾患(クローン病や潰瘍性大腸炎)、④消化液の分泌が悪くなる慢性膵炎などがあります。

全身のだるさや発熱、関節痛、下痢や便秘などの症状を伴うときは医療機関を受診し、原因を調べましょう。

病気が原因の場合は、①代謝が亢進する内分泌疾患(甲状腺

(糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科教授 橋本重厚)